

生活を守るために 一緒に声をあげよう。

防衛力強化って
何を守るの!?
もうこれ以上増税やメテ〜

■藤沢版 / No.1177 2023年(令和5年) 6月30日(金) 6月30日(金)号

デスク・レポート

20代2人が市議会に請願

▼16日に開催された藤沢市議会総務常任委員会、公明党の市議による発言が議論を呼んでい。21歳の若者が防衛増税の撤回を政府に求める意見書を提出してほしいという請願に対し「国会に提出すべき案件」「認識が甘い」などと述べ、議員問答では「本人が書いたものではない」と決めつけた。その後22日の議会運営委員会で請願の紹介議員が同市議の発言を問題視。市議の発言を問題視。市議の発言を問題視。市議の発言を問題視。

政治参加に水差す言動だ

公明 党議

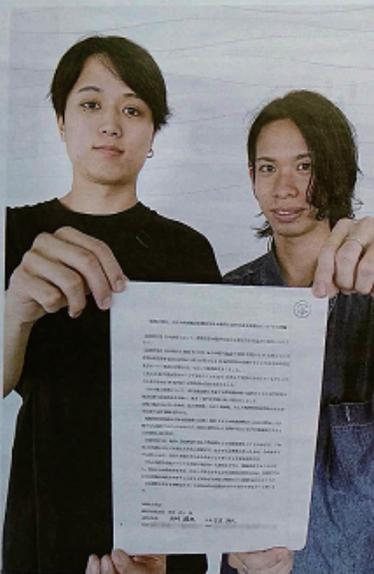
防衛力強化が国の専横のだから、それに値するものを出すべき」といふ趣旨の発言を繰り返した。請願の内容は、政府が23年度から防衛費を43兆円に増額し、増税で賄う者の政治離れが指摘され、市民の政治参加を促すことについて求めた。

政の監視機関の一員であると同時に市民の代弁者として、請願書の中で2人は「ただでさえ税金で苦しめられているのに将来も増税で苦しめられるんじゃないか不安」と訴え、同市議はまた「我々は真剣に議論している」と述べた。

加は地方議会の藤沢市議であるはずだ。今回請願を提出した2人は限られた期間で勉強を重ね、知人にもヒアリングをしながら請願文を作り上げたという。「世論は変えられる。僕たちの活動で少しでも若者の心に火をつけよう。不採択になったとはいえ、立派にやり遂げたと思う。同市議には今回の言動を反省してもらい、市議会に賛成を促す風土を育んでほしい」と述べた。

▲請願した若者への発言を巡る公明党市議の言動についてのタウンニュースレポート。この公明党市議と原田との応酬が議会で繰り広げられました。

防衛費増税「政府にNOを」



2人は友人で、ともに六会中学校の卒業生。現在北村さんは大学を休学中で、古屋さんは市内飲食店で勤務している。

「元々政治に興味があったわけではないが、新型コロナ禍で大学が休学問題だらけのマンパ制、国民の声を代弁しているとは思えない国会での議論、政治を知れば知るほど、有権者が置き去りになっている気がしてならなかった。一方の古屋さん。「がんばって仕事しても手元に残るのはわずか。また税金のために働いているよ」と将来に不安を感じていた。

古屋さんの父が交流があった市議会議員を通じて、議員の紹介で請願を提出できる権利があると知ったのが5月末のこと。自分たちで声をあげることができると、やってみるか。期限まで1週間を切っていたが、市議のアドバースを受けて新聞やインターネットで情報収集したり、知人や友人の声を集めて請願文を作り上げた。

2人は請願文で政府が復興特別所得税の半分を防衛費に転用することに「目的すらも変更するにわかかわらず、国民に納得のいく説明が果たされていない」と問題提起。

長引く景気低迷や物価高による実質賃金がマイナスになっていることを念頭に「今の生活ですら苦しいのに将来も税金で苦しめられるんじゃないかと不安」と訴えた。

請願は同日の市議会常任委員会で賛成反対が同数となり、委員長採決で不採択となった。また奇しくもこの日、防衛費増額に向けた財源確保法が参議院本会議で賛成多数で可決され、成立した。結果は残念だったが、今何が変わるかわからない。増税を将来支えるのも、増税になったり、同世代に少しも政治に関心を持ってもらいたくない」と述べた。

6/16 総務委員会「防衛力強化」のための増税方針撤回を日本政府に求める意見書提出についての請願審査(紹介議員:原田)

6/22 本会議採決

賛成:民主クラブ、共産党、Vision、アクティブ(原田)、西(市民クラブ)

反対:市民クラブ(8)、公明党、維新、自民無所属、We 藤沢

ブラック企業に解雇され
家賃支払えず困っています。
生活保護制度よく知らないんです。
30代

生活保護制度を遠慮せず使ってください。

★二刀流ならではの8月活動報告★

8月の特別委員会終了後、30代男性と生活援護課に同伴。生活保護を申請するためである。制度をよく知らなかった彼に「生活保護は誰でも困ったときに使える制度なので遠慮は要りませんよ」と背中を押した。

毎週公園で開いている「寺子屋ハウス」では、駄菓子屋の横でフードバンクからの食料品を無料配布しており、ハローワークから流れて来るみなさんから色々事情を聞いて相談に乗るケースも増えている。

今回は、以前その食料支援で助かったという方が、さらに困っている友人を連れて私を訪ねて来たのである。

聞けば、ブラックな企業から解雇され、光熱費や家賃が支払えずに退去勧告される事態に直面した彼は就活中で派遣社員の採用待ち。採用されても給料日まで貯金はゼロ。

生活保護が決まるまでの貸付けが本来あるのだが、半年前にすでに社会福祉協議会から借りて返済できていないためにそれもかなわず。

健康で、働く意欲もしっかりあるのに、ちょっとつまずいただけでセーフティネットからこぼれ落ちる危険性がすぐそこにある。まずはフードバンクからの食料品を提供。生活保護の給付までなんとか繋いでいかなければ。

「自分でなんとかしないと」と追い詰められるケースが少なくない。今回の繋がりから生活保護が選択できて本当に良かった。生活保護を一時でも使って、生活再建が出来れば自立への足がかりになるのである。

困ったときには生活保護制度と二刀流を遠慮なく使ってください。当然の権利です。前向きに生活再建しましょう。